

こたえ セミの 一生

じゅけんいりぐち
受験入口 ①

セミの 一生

なつに になると、セミが げんきに なきます。でも、セミが 木の上で くらすのは、一生の うちの

①ほんの すこしの あいだです。

セミの 子どもは、土の 中で くらして います。

木の ねに 口を さして、しるを すって

そだちます。

土の 中で すごす 年月は、しゅるいによつて ちがいますが、ながいものは 五年ほども あります。

大きく なった 子どもは、なつの タガタ、土から

出て きて 木に のぼります。そして、からを

ぬいで、おとなの セミに なります。

① セミの 子どもは、どこで くらして いますか。

土
の中

② セミの 子どもは、木の どこから しるを すいますか。

木の

ね

③ おとなの セミになる じゅんに、□に 1・2・3を かきましよう。

③ からを ぬぐ。

② 木に のぼる。

① 土から 出る。

④ ①「ほんの すこしの あいだ」と あるのは、どうしてですか。

一生の ほとんどを、土の 中で すごすから。

おうちの方へ

- 5は「土の中にいる時間のほうが長いから」なども正解です。最初の段落の「でも」に注目させましょう。